

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

【実習目標】

- ① 耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学で取り扱う疾患範囲を把握し、患者にアドバイスできるようにする。
- ② 耳鼻咽喉科診療の基本的診察法を身につける。
(診察の方法を習得し担当患者にて実習する。)
- ③ 耳鼻咽喉科領域の主要症候を理解し、診断に必要な技能を身につける。
(外来実習前に主要症候と診断のためのアルゴリズムを理解し、初診外来患者の診察を見学する。)
- ④ 耳鼻咽喉科領域の検査を理解し、診断に必要な検査の選択ができるようにする。
(検査の方法を実習し、初診外来患者の検査を見学する。)

【注意事項】

- ① 時間厳守 (詳細後述)
- ② 服装：白衣を着用し、襟元をきちんとする。足許は靴履き (運動シューズ可)
- ③ 持参物：耳鼻咽喉科学成書と筆記用具
- ④ 患者に対する態度：
 - a. 医師らしく
 - b. 冷静に
 - c. やさしく
 - d. 自信にあふれた態度で患者に接し、患者に安心感を与えることが最も重要である。
 - e. 謙虚に

【集合場所と実習内容】

耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学医局に月曜日午前9時集合

- ・月曜日が祝日の場合は火曜日午前9時に外来へ集合
- ・病気等の理由による欠席連絡は午前9時以降に医局に TEL

医局：研究棟A1階 (TEL：082-257-5252 E-mail：jibi@hiroshima-u.ac.jp)

病棟：入院棟10階西

外来：診療棟2階

手術室：診療棟4階

【指導教員】* (研)：研究科籍 (病)：病院籍

教授 竹野 幸夫 (研)

准教授 上田 勉 (研)

講師 工田 昌也 (病)・石野 岳志 (病)

助教 小川 知幸 (研)・石橋 卓弥 (病)・濱本 隆夫 (研)・久保田 和法 (病)・樽谷 貴之 (病)

	9:00	12:00	13:00	14:00	16:00	18:00
月	【医局】 オリエンテーション			【病棟】 教授回診 診療実習	【病棟】 症例検討会	
火	【外来】 検査見学		【外来】 特殊外来見学 (嗅覚外来・音声言語外来)		【外来・病棟】 患者情報収集等	
水	【手術室】 OPE見学		【手術室・外来・病棟】 検査実習・外来診療のまとめ			
木	【外来】 外来実習・問診とり		【外来】 鼻アレルギー実習			
金	【手術室】 OPE見学		プレゼンテーションの用意		【医局】 割り当てられた 症例の提示と討論	

【実習の評価方法・配点】

実習初日に配布する「ポリクリ出席表およびスケジュール表」は、毎回当科担当者のチェックを受け、必ず最終日に提出すること。

実習態度、最終日のプレゼンテーションおよび提出されたレポート等により評価する。

配点は「プレゼンテーション 50 点」「レポート 50 点」の合計 100 点とする。

レポートの作成について

- ① テーマの決定：月曜日の午後に決定する
- ② 提出期限：実習終了時の翌々週月曜日
- ③ レポートの形式：ケースレポート
 1. 序文：レポートの内容と目的を明記する
 2. 本文：主題にそった記述を参考文献から引用しつつ展開する
例) ……，局所制御が比較的良好とされ¹⁾、……
 3. 考察：レポートのテーマを中心に
 4. まとめ：本文を簡潔にまとめる
 5. 参考文献：正規の記述で列挙すること
例) 1) 夜陣絃治、他：副鼻腔炎の難治化因子。特集 難治性副鼻腔炎の治療。耳喉頭頸 74:587-590, 2002.
- ④ 提出場所：耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学医局の秘書へ手渡す
- ⑤ 提出が遅れる可能性がある場合は、あらかじめ TEL か E-mail で連絡する
- ⑥ 文献検索：医局図書室、あるいは図書館でさがす